

## 第 1 5 章 教育委員会

### 第 1 節 教育総務課

#### 〔総括概要〕

教育文化都市として一層の飛躍を目指し、「開かれた教育委員会」、「安心安全な施設・設備づくり」に力点を置き、各種事業の推進を図った。

教育委員の活動としては、教育委員会を教育施設である地区公民館を中心に巡回しながら開催し、教育に関する協議を行った。各種研修会等にも積極的に参加した。

市立学校の管理運営については、公平かつ良好な教育環境を整備するため、施設の維持管理並びに各種教材備品等の充実を推進すると同時に、子どもたちが高度情報通信ネットワークに主体的に対応できる能力を育成するため、教育用コンピュータとその利用環境の整備を推進した。加えて、効率的かつ安全な校務環境の実現と授業の質の更なる充実を図るため、教員1人1台のコンピュータ配置を前進させた。また、学校勤務の市職員の資質向上を図るため、図書館事務担当者に研修会を実施した。

学校の施設整備については、大地震などによる学校施設の倒壊被害を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする施設利用者の安全と災害発生時の避難場所を確保するため、真名子小屋内運動場ほか7棟の耐震補強工事を実施し、また、耐震補強設計業務の委託を実施した。

校舎の改築を予定している大平南小及び大平中においては、それぞれ実施設計業務及び基本設計業務を、屋内運動場の改築を予定している家中小においては、実施設計業務の委託を実施した。

安全で快適かつ良好な教育環境の整備のために、各学校のプールや受水槽、エアコンなどの改修工事を実施した。その他、トイレや照明器具など学校施設の改修・修繕及び施設の保守点検などを各校において実施した。

市内中学校においては、災害時の避難所としての機能向上を図るため、校舎の改築を予定している大平中を除く全12校の普通教室等へエアコンを設置するための設計業務の委託を実施した。

大宮北小では、児童数の増加に伴う教室不足の解消を図るため、昨年度の校舎増築工事に引き続き、今年度は既存校舎の改修工事を実施した。

学校再編については、寺尾地区において寺尾中央小と寺尾南小の統合を進めた。統合後の新校舎を寺尾中央小の位置に建設し、平成26年3月25日に竣工式を挙行了。平成26年4月からは新校舎にて統合小の「栃木市立寺尾小学校」が開校する。

学校の適正配置を検討するなかで、各地域の現状と課題を把握することを目的に、市内13中学校区ごとに検討会を実施した。

また、小規模校の教育環境不均衡解消のため、小規模特認校制度を導入し、大宮南小に加え平成26年度からは国府南小と真名子小においても児童の受入れを開始する。

教育総務担当

1 規則等の制定、改廃件数 35件

2 教育委員会の開催状況

開催日	定例会 臨時会 の別	付議件数（件）			開催場所
		議案	協議	報告等	
4月1日（月）	臨時会	-	1	-	栃木文化会館
4月22日（月）	定例会	9	2	2	西方中学校
5月20日（月）	定例会	12	2	2	吹上公民館
6月24日（月）	定例会	4	1	2	藤岡公民館
7月22日（月）	定例会	3	2	2	吹上公民館
7月25日（木）	臨時会	1	-	-	吹上公民館
8月26日（月）	定例会	-	2	1	吹上公民館
9月30日（月）	定例会	3	2	3	国府公民館
10月18日（金）	定例会	1	10	-	都賀総合支所
11月25日（月）	定例会	-	3	2	大平健康福祉センター
12月16日（月）	定例会	4	2	1	吹上公民館
1月20日（月）	定例会	3	-	-	皆川公民館
2月17日（月）	定例会	11	6	-	市役所
2月27日（木）	臨時会	3	-	1	市役所
3月24日（月）	定例会	13	6	3	市役所

3 教育委員の構成

職名	氏名	性別	就任年月日 任期满了	備考
委員長	後藤 正人	男	平成22年5月19日 平成26年5月18日	平成22年5月19日 委員長に就任
委員長職務代理者	筑比地 幸子	女	平成22年5月19日 平成28年5月18日	平成22年5月19日 職務代理者に就任
委員	福島 鉄典	男	平成22年5月19日 平成29年5月18日	
〃	若林 由美子	女	平成22年5月19日 平成27年5月18日	
〃	荒川 律	男	平成23年11月25日 平成27年11月24日	
〃 (教育長)	赤堀 明弘	男	平成22年5月19日 平成26年5月18日	

4 小・中学校図書館事務担当者研修の実施状況

実施日	研修内容	参加者(人)
4月25日(木)	総会並びに研修会	120 (延べ人数)
6月11日(火)	栃木図書館の取り組み学習及び館内見学	
7月22日(月)	図書館ボランティア「鹿沼楡木小KLV」講習	
10月8日(火)	「栃木市図書館計画」の学習、掲示物作成	
1月28日(火)	掲示物作成、次年度研修計画	

## 5 小・中学校への教育用コンピュータの整備と活用の推進

### (1) 教育用コンピュータの整備

情報教育の推進を図るため、平成24年度からリース方式により、順次計画的に教育用コンピュータを導入した。

リプレース校 (単位：台)

栃木第五小学校	72	大平東小学校	69	藤岡小学校	67
大宮南小学校	38	大平南小学校	71	部屋小学校	61
千塚小学校	60	大平西小学校	71	赤麻小学校	63
寺尾中央小学校	54	大平中央小学校	83	三鴨小学校	63
国府南小学校	37	大平中学校	75	藤岡第一中学校	72
栃木南中学校	62	大平南中学校	76	藤岡第二中学校	62
東陽中学校	72				
皆川中学校	51				
寺尾中学校	48				

### (2) 学校ホームページのクラウド化

情報共有基盤システムであるネットコモンズ(Netcommons)の導入により、学校ホームページの更新頻度が向上され、保護者や地域住民に対して、迅速に情報の発信を行えるようになった。

## 6 栃木市奨学金の貸付

経済的理由により修学困難な高等学校、専修学校高等課程・専門課程、短期大学、大学に入学希望者及び在学者に対し、栃木市より奨学金の貸付を行った。

### (1) 奨学金月額

区 分		月額(円)
高等学校・専修学校高等課程		12,000
専修学校専門課程	自宅通学	25,000
短期大学	自宅外通学	30,000
大 学		

### (2) 奨学金の貸付状況

(単位：人)

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	合計
高等学校	4	1	3			8
短期大学	-	-				-
大学	4	6	2	7	1	20
専門学校	2	2	-			4

(3) 平成25年度末栃木市奨学基金の状況(単位：円)

基金額	115,948,643
貸付金額	71,165,625
現金額	44,783,018

## 7 叙位・叙勲の申請・伝達等

教育職員に関する叙位叙勲の申請、伝達等を行った。

・叙位 4件 ・叙勲 11件

## 8 学校施設の整備状況

小中学校各校耐震補強工事費	8棟	289,550,100円
小中学校各校施設整備工事費	37件	128,842,350円
小中学校各校維持補修費	365件	39,400,173円
小中学校設備保守点検等委託料	99件	52,718,138円

## (1) 主な工事

業務名称	対象施設	学校名	工事概要	工事費(円)
校舎改築工事	校舎	寺尾小	・ 本体工事 R C 造 2 階建 延べ 3,385.85 m <sup>2</sup> 、太陽光発電設備、昇降機設備	575,400,000 (平成 24・25 年度 継続事業)
			・ 電気設備工事 高圧引込設備、受変電設備、幹線設備 その他	130,830,000 (平成 24・25 年度 継続事業)
			・ 機械設備工事 冷暖房設備、暖房設備、換気設備 その他	132,195,000 (平成 24・25 年度 継続事業)
			・ 家具及び附属建物工事	27,247,500
増築工事に伴う改修工事	校舎	大宮北小	・ 本体工事 校舎棟 R C 造 4 階建 延べ 6,577.94 m <sup>2</sup> (一部) 建具改修、内装改修、塗装改修 その他	34,629,000
			・ 電気設備工事	10,122,000
			・ 機械設備工事	16,002,000

外構工事	校庭	合戦場小	施設撤去、敷地造成、雨水排水設備、電気設備、遊具施設整備、管理施設 その他	13,597,500
		西方中	敷地面積 21,518.59 m <sup>2</sup> 屋外便所棟、部室・倉庫棟、弓道場改修工事、電気設備・機械設備、テニスコート工事	74,938,500
耐震補強工事	校舎	赤麻小	鉄骨ブレース K 型 2 箇所/M 型 1 箇所 解体撤去復旧、電気設備 その他	13,188,000
		部屋小	鉄骨ブレース K 型 1 箇所、 屋上防水その他改修	16,453,500
		合戦場小	鉄骨ブレース K 型 9 箇所 解体撤去復旧その他改修	73,825,500
	屋内運動場	赤津小	屋内運動場 1 棟 延べ 676 m <sup>2</sup> 屋根改修その他改修	41,107,500
		真名子小	屋内運動場 1 棟 延べ 404 m <sup>2</sup> 床改修その他改修	15,960,000
		大平中央小	屋内運動場 1 棟 延べ 813 m <sup>2</sup>	8,349,600
		寺尾中	屋内運動場 1 棟 延べ 736 m <sup>2</sup> ステージ下台車収納その他改修	28,770,000
		西方中	屋内運動場 1 棟 解体撤去復旧、内装改修、電気設備 その他	91,896,000
施設整備工事	栃木第五小	プール改修工事	76,713,000	
	大宮北小	本体工事、機械設備工事	3,444,000	
	東陽中	消火栓配管改修工事	3,256,050	
	東陽中他 5 校	消防設備改修工事	10,689,000	
	南小	受水槽改修工事	4,084,500	
	真名子小	プール塗装改修工事	5,208,000	
	三鴨小 藤岡小	洋式トイレ設置工事 和式大便器撤去・洋式便器取付 その他	12,990,000	
西方中	プール管理棟改築工事 管理棟 木造平屋建 延べ 46.37 m <sup>2</sup>			

(2) 主な業務委託(学校施設整備関係)

業務名称	対象施設	学校名	業務概要	委託費(円)
校舎改築等実施設計業務委託	校舎	大平南小	校舎改築等実施設計業務委託 校舎解体・改築、仮設校舎建築 他	47,040,000
基本設計業務委託	校舎	大平中	基本設計業務委託 基本設計業務 校舎棟 延べ 5,200 m <sup>2</sup> 地形測量業務 作業量 0.039k m <sup>2</sup> 縮尺 1/500 耕地/平地	16,590,000

耐震補強設計 業務委託	校舎	部 屋 小	耐震補強及び改修設計業務委託 管理教室棟 RC造3階建 延べ1,907.2㎡	3,307,500
		藤岡第二中	耐震補強及び改修設計業務委託 管理教室棟 RC造3階建 延べ3,115㎡	3,349,500
	屋内 運動場	寺 尾 小	耐震補強及び改修設計業務委託 屋内運動場 延べ500㎡	2,362,500
設計等業務委託	校舎	市内中学校	空調設備設置設計 一式	12,915,000
		栃木第四小 他2校	トイレ改修設計 一式	3,654,000
	屋内 運動場	家 中 小	改築設計業務 鉄骨造1階建 延べ894㎡ 解体設計業務 鉄骨造2階建 延べ586㎡ 地形測量業務 現地測量 作業量0.025k㎡ 縮尺1/500 耕地/平地	18,270,000
		市内小中学校	非構造部材耐震調査設計業務委託 一式	7,841,400

(3) 主な学校施設管理業務とその概要

業 務 名	概 要
自家用電気工作物保守管理 (※)	高圧受変電設備(キュービクル)および電気設備の保守管理業務委託
校舎警備 (※)	夜間休日の校舎警備委託
消防設備保守点検 (※)	自動火災報知機、屋内消火栓、避難器具その他消防設備に係る消防法に基づく点検(年2回)の委託
非常通報装置保守委託	自動火災報知機と連動した緊急通報装置の機能維持に係る点検委託(製造メーカー保守)
防煙防火シャッター保守点検 (※)	防災防火シャッターの機能維持に係る点検委託(製造メーカー保守)
昇降機および給食用ダムウェーター保守管理	乗用および給食運搬用エレベーターの安全性担保および機能維持のための保守点検委託
浄化槽保守管理	浄化槽の機能維持のための保守点検委託
浄化槽清掃	浄化槽内汚泥の汲み取り(年1回)
浄化槽水質検査	浄化槽法第11条に基づく水質検査(年1回)
水泳プール循環浄化装置保守	学校水泳プール濾過装置の使用前・後の保守点検
水道貯水槽清掃 (※)	受水槽および高架水槽の清掃
簡易専用水道管理検査 (※)	受水槽・高架水槽を介して各階に給水する水道設備の管理状況に関する検査

※印は、栃木中央小学校旧校舎(旧栃木第一小分)を含む。

9 小中学校屋内運動場利用状況(栃木地域)

小学校及び中学校の屋内運動場を学校教育に支障のない範囲内で開放し、青少年の健全育成並びに地域住民の文化の向上及びスポーツ振興を図った。

- ・利用者数 小学校(14校) 延べ 91,404人  
中学校(7校) 延べ 45,083人

10 寺尾中学校セミナーハウス利用状況

寺尾中学校内に設置された集団宿泊研修施設であるセミナーハウスを開放し、人間性豊かな児童生徒等の育成を図った。

- ・利用者数 延べ480人

## 教育政策担当

### 1 教育行政に関する冊子の発行

本市の教育活動を市民の方々に理解していただくため、市民向けに冊子を作成、発行した。

	「栃木市の教育 絆」
発行	広報とちぎ7月号折込
形式	A4判
発行部数	5,430部（班内回覧）

### 2 栃木市教育委員会だよりの発行

教育委員会としての役割を明確にし、教育委員会の会議や活動内容を広く市民に広報するため、「栃木市教育委員会だより」を作成、発行した。

	「栃木市教育委員会だより」
発行	広報とちぎ折込（10月、3月）
形式	A4判
発行部数	各46,500部（全戸配布）

### 3 学校適正配置の検討

#### (1) 中学校区検討会の実施

各地域の現状と課題を把握することを目的に、市内13中学校区ごとに各小中学校長、保護者代表、自治会代表の出席のもと、検討会を実施した。

#### (2) 小規模特認校制度の導入

通学区域外からの児童の入学、転入学を認める小規模特認校制度を導入し、小規模校の児童数増加及び活性化を図った。

大宮南小学校については、平成25年度より児童の受入れを開始し、国府南小学校、真名子小学校については、平成26年度より児童の受入れを開始する。